

小さな声を聴く力。公明党

令和3年第3回定例会での公明党代表質問

若年層へのワクチン接種の促進について

コロナワクチンの若年層の接種率向上に一層力を入れるべきだ。若者が多い三軒茶屋や下北沢での専用会場の解説や既存会場での夜間休日予約枠の拡大を図れ。

【答弁】若者に合った接種の時間帯や場作りなどを工夫して進める。

酸素療養ステーションの増設について

コロナ禍での医療逼迫の再来を見据え自宅療養者の命を守る体制を強化すべきだ。容体が悪化した自宅療養者に酸素投与を行う酸素療養ステーションを増設せよ。

【答弁】病床数を拡大した新たなステーションを解説する予定だ。

不登校特例校の解説への道筋について

区は不登校特例校設置の前段階となる分教室を開設予定だが、生徒数が定員に満たず分教室から学校への移行が難航する自治体もある。移行に向けた道筋を示せ。

【答弁】移行作業の中で着実に課題解決し魅力ある特例校を目指す。

民間委託した図書館の効果検証について

持続可能な区政運営に向けて始まった図書館民営化の効果を区直営館と比較し十分に検証すべきだ。新公会計制度によるフルコスト分析や区民満足度調査を行え。

【答弁】コスト分析や区民の要望を踏まえ評価検証を着実に行う。

私立保育園の存続に向けた対策について

0~2歳児の欠員がこのまま続ければ私立園は経営難で閉園してしまう。区立園の定員減や3~5歳児保育への特化など、定員調整を行い私立園の存続に尽力せよ。

【答弁】区立園新設の先送りや定員減などの定員調整を進めていく。

新BOP(ボップ)民営化への検討状況について

先の議会で新BOP民営化を求める我が会派の質問に対し、区は9月に今後の方向性を取りまとめると答えた。

進捗状況を示せ。

【答弁】時間を要しているが、検討を進め今後結果を報告する。

浸水想定区域での要支援者の対応について

多摩川の洪水に備え浸水想定区域に住む避難行動要支援者が避難しやすい身近な高層施設が必要だ。学校の高層化や玉川高校跡地への施設整備などに取り組め。

【答弁】適切な階数の設定などは重要であり今後検討する。

土砂災害対策の強化について

盛土が原因で起きた熱海市の土砂災害を教訓に区でも土砂災害警戒区域への早急な対策が必要だ。区内にある盛土や擁壁などを定期的に点検して安全を確保せよ。

【答弁】水防態勢での現地確認や専門家による定期点検をしている。



あなたのため！ 働きます！

食のネットワーク拠点の整備について

子ども食堂や被災者に安定的に食を提供できる体制が必要だ。寄附された食料を保管し配達するロジ・ハブ拠点を玉川野毛町公園などに整備し官民連携で運営せよ。

【答弁】民間の食の支援状況などを踏まえ可能性を検討する。